



総合博物館

教職員写真同好会 伊藤仁浩

KIBO NO NIJI きぼりの虹

発行所

北海道大学生協同組合
札幌市北区北8条西7丁目
教職員委員会編集
電話 011-746-6218

主な記事紹介

- 二面 現役北大生と歩く 北大キャンパス散策と北大総合博物館
- 四面 北大所蔵の「書」紹介
- 七面 大学文書館へ行こう 第2回

北海道大学 首藤光太郎
総合博物館 山本 順司
書 家 岡田 大岬
北海道大学 井上 高聡
大学文書館

真冬になると、札幌のいたるところにたつ雪山。北大の中央ロインにも、メインストリートにも、奥まった森にも、さまざまな形で雪の彫刻が現れます。雪が積もり始めると、滑る心配からだけでなく、毎日その姿を変える雪の彫刻を見ることを楽しむためにも、足元のスピードを落とします。

私は現代アートの作品をつくっています。同時に北海道大学 CoS TEPで、アートを通じた科学技術コミュニケーションの研究をしています。言い換えると、現代アートの実技の学部がない北大で、社会の中で科学技術について考える場をつくるコミュニケーションの実践研究を、アートプロジェクトを企画・実践しながら行っています。

現代アートは、近代までのアートと異なつて、アートとは何かについての問いかけから生まれ、今までの表現を超える表現を探り続けてきています。使用するメディアや、扱う題材もグッと広がり、他の分野と重なり合うところも増えました。社会を批判したり、最先端の科学技術を積極的に用いたりする中で、莫大な金額で売られる作品もあれば、美術館やギャラリーではない意外な場所で突然現れる作品もあります。その多様性が、私たちの日常で世界を広く見て感じるきっかけをつくると同時に、時に

は難しく感じられる原因にもなると考えます。

そんな現代アートを、私は北大でつくっています。北大の環境を用いた表現を試みたり北大の科学を題材に制作して科学とアートを同時に提示したりします。幅広いフィールドや学問の世界を旅する

そりにひかれて
— 北大で、アート作品をつくること —

北海道大学 CoSTEP
特任助教
朴炫貞



Opinion!

中で生まれる出会いから、今まで知らなかった世界の扉が、少しずつ開いているように感じます。その中で強く感じたことや、皆さんに聞きたいことを、作品にしています。さらに、自分だけでなく、色々なアーティストが北大にきて活動できる場をつくることは、私の作品制作において大事なもう一つの軸です。

そのような思いから、12月19日から北海道大学総合博物館では、「そりにひかれて」科学とアートで環境をめぐる」企画展を開催します。日本語でそりは雪や氷をすべる乗り物ですが、韓国語では音を意味します。しかも、木に毛を三つ書くと「橇」になることを踏まえると、雪原のどこかに聞こえてくるソリの音を想像しました。今年、気候変動や異常気象が深刻になっている中、世界を変えたウィルスのせいで、私たちが取り巻く環境について強く意識するようになった1年だったかと思えます。アーティストが見た環境、様々な分野の科学者が語る環境を体験することを通して、私たちはどのように環境を知っていけば良いかについて考える展示です。

北大での作品制作でコミュニケーションの可能性を開くことで、より広い視点で自分事としてモノゴトを想像できるアートの力を、北大また社会にインストールすることを目指しています。この冬総合博物館での展示を体験し、街中の雪景色を二味違う視点で楽しめることもその一つでしょう。歩くスピードを少し落として、見えてくる風景を改めて感じること、知つていると思つていたことを新しい視点で見つめ直すこと。それができる北大での作品制作を、これからも続けます。

北大キャンパスとツアー事業 「現役北大生と歩く 北大キャンパス散策と北大総合博物館」

北海道大学総合博物館 首藤光太郎・山本順司

私達は、今年度から北海道大学札幌キャンパス(以下、北大キャンパス)と総合博物館を題材とした試験的なツアー事業の計画を始めました。その目的やツアーの詳細についてご紹介します。

北大キャンパスは、大学における研究・教育活動にとどまらず、様々な目的で利用されています。特に、札幌市内における重要な観光拠点であるという側面は、他大学と比べて珍しい点です。札幌農学校が札幌市(北海道)の開拓と深く関係していることから広大なキャンパスが市内のほぼ中央部に位置し、農学校時代に建造された歴史的建築物が数多く残されています。これらの他、ポプラ並木や銀杏並木の黄葉といった風光明媚な観光スポットを目的に、多くの観光客が訪れています。

実際に、北大キャンパスを利用した外部団体によるツアー事業も行われていますが、中には不正確な案内を行っているものもあるようです。

私達の素晴らしい研究・教育環境を守っていくためには、多くの人に適切な情報に基づいた北海道大学を知っていただく必要があります。そこで、私達は将来的に本格的なツアー事業を受け入れることができないか

と考えています。

この試験的なツアー事業は、学術コンサルティング契約を締結した株式会社北海道宝島旅行社(以下、宝島旅行社)、当館ミュージアムショップ「ぼとろ」と協力して、将来的な実装が可能かを判断するために計画されました。9月以降、宝島旅行社や校友会の紹介でガイド一名につき4〜5人程度のお客様を募集して、ツアーを始めたい

学生によるガイド

このツアーの売りの一つは、ガイドが学生であることです。キャンパス内の自然や建築物の解説に加え、サークル・講義・ゼミといった北大生の学生生活や、学部ごとの違い、進路や受験についての話を聞くこともできます。また、学生にとってもツアーが学びの場となり、一石二鳥となる目論見です。ミュージアムショップを通してアルバイトの募集を行い、北大キャンパスの魅力や観光に興味を持った学生が集まりました。現在登録しているのは学部1年生から大学院修士課程1年生までの合計8人。学部1年生は、コロナ禍の影響で十分な登校もままならない中情報を聞きつけ集まってくれました。

ツアーの予約が入ったら、日

程調整を行い時間のある学生がガイドを行うシステムになっています。希望があれば、興味のある学部やサークルに所属する学生や、特定の得意分野をもつ学生を相談の上選んで頂くことも可能です。一段ステップアップした学生生活を過ごしている大学院生によるガイドも、また違った視点で面白いと思います。

ガイドの皆さんは、8月初旬から北大キャンパス内の建築物や自然について学び、実際にガイド役とツアー客にわかれた練習を2ヶ月以上重ねてきました。私達が主導した研修に加え、独自の勉強会も行っているようです。特に自然については、季節や天候によって見どころが変わってしまいます。このため、定期的な案内ルートの変更が必要で、そのたびに新たに学ぶことが増えていきます。つ



紅葉研修会の様子

いじわるじいさん

秋になると豊平区を流れる精進川にサクラムスがやってくる。今年も10月初旬、遡上するマスが一気に増えた▼尾緒で川底を叩くのは、産卵床を準備中の雌。水が跳ねる。雄が来て寄り添う。ここに近寄ろうと、他の雄達が水音を立てて争っている。滝では、赤茶色のマス

が突然飛びあがり落ちる▼目を凝らす一瞬が、精進河畔公園の川のあちこちで見られる。カメラを構えると、「こっちから撮った方がいい」と声を掛けられた。近くの人か、ポロシャツ姿の軽装だ。別の男性が「昨日水門が開いたから今日は沢山いるよ」と教えてくれる。産卵時は水面が白く濁るが、その瞬間を撮った若者は帰り際「2時間ねばった」と言葉を残した。知らぬ者同士で言葉が行き交う▼親子連れ、保育園児、手に杖を持つ子は小学生。みんな浅い川を覗き込む。足を入れてみる子もいる。コロナ感染者急増で緊張する市中とは別世界だ▼10月中旬、川の賑わいは去った。産卵床を孤独に守っていた雌はポロポロになって沈んでいた。数日後、その身は落ち葉が流れる川の縁にあり、カラスがついばんでいる▼いつのまにか雪虫が飛んでいた。まといつく雪虫を払いながら枯葉を踏み、緊張の町に帰って来た。(今日子)

い先日、キャンパス内のカエデ属や銀杏並木など、紅(黄)葉をテーマに学芸講習会を行ったばかりです。話を聞くとまだ不安はあるようですが、その上達ぶりは目覚ましいもので、北大キャンパスや総合博物館の見どころについては、すでに一般的な教職員よりも詳しいかもしれません。今後もお客様に満足していただけるよう、研鑽を重ねていくべく期待しています。

現在のルート

前半は北大キャンパス内の散策です。正門前に集合し、事務局本館と佐藤昌介の胸像、守衛室・南門、古河講堂、クラーク胸像、旧昆虫学及養蚕学教室、エルムの森などを見学し、歴史的な建築物、記念碑、自然についての解説を聞くことができます。この後は、夏の間はエルムの森から理学部ビル群を通ってポプラ並木と花木園に至るコースでした。理学部周辺の雰囲気を感じてもらいつつ、木原均を記念した小麦研究記念碑を巡り、ポプラや特定外来生物オハングソウといった特徴的な植物の観察を行いました。紅(黄)葉の季節は、理学部周辺は通らず、銀杏並木と大野池周辺を歩くコースに変更しました。美しく色づいたイチヨウやカエ

デ属を楽しみつつ、人工雪誕生の地の記念碑やセイコーマート、アカナラのどんぐりについて解説していただきました。散策ルートは、今後変更されていきます。特に冬季は、低温・降雪・路面凍結を考慮しつつ、キャンパス内を楽しんでいただくことのできる内容にする必要があります。現在検討中です。



看板でのキャンパス説明の様子

続いて、ミュージアムカフェ「ぼらす」で小休憩をとった後、総合博物館の展示解説となりま。休憩は15分程度で、コーヒーまたはお茶を飲みつつ、ミュージアムショップで買い物をすることもできます(オスメのミュージアムグッズをガイドの方に聞くのもアリかと思えます)。その後、北大の歴史や各学部・部局、総合博物館が収蔵する標本・資料についての展

示を順路に従って一通り巡ります。11月はちょうどトガリネズミ展が始まったばかりで、運の良い組は巣から出てきたトガリネズミを観察することができていました。最後に、1階北側のバックヤードを通って、普段は公開されていない中谷宇吉郎の復元研究室を訪れます。総合博物館は入館料無料ですので、特別感を出すために普段は公開していない場所を組み込むことになりました。将来的には陸上植物標本庫などの他のバックヤードもオプションとして選択できるようにしたいと考えています。



総合博物館内での解説の様子

ツアアの評価
今年度行っているツアーはあくまで試験的なものですので、実装できるかを判断する上でお客様の評価は重要です。ただし、現在のところ概ね高評価を

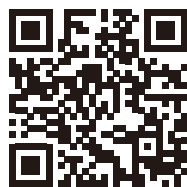
いただくことができています。具体的には、「話の中に学生ならではの発想があり、親世代の自分にとって新鮮だった」「3時間フルで解説をする、その知識量に驚いた」「他エリアのツアーがあれば参加したい」「樹木や聖蹟など、言われなければ気付かないポイントについても知ることができてよかった」といったようなコメントをいただくことができました。北大キャンパスとこのツアーの魅力がお客様にはよく伝わっているように感じます。回数を重ねることでガイドもさらに上達していくと思えますので、今後はさらにお客様が満足できるように、改良を加えていきたいと思えます。

この試験的ツアーは、少なくとも今年度末までは継続する予定ですが、来年度以降については未定です。総合博物館で陸上植物を担当している筆者(首藤)は、少なくとも一年間はデータをとり続け、特にエゾエンゴサクやオオバナノエンレイソウといった北海道を代表する春植物を観察できるルートを来春新たに設定する必要があると個人的に思っています。

札幌に来訪した観光客の皆様だけでなく、北大への受験を目指す中高生とそご家族の方や、北大のキャンパスや歴史に

興味を持っていらっしゃるもの学機会がなかった教職員の方、在学生や卒業生とそご家族の方などには、特に楽しんでいただけるものと思えます。

ツアーは、北海道宝島旅行社のWEBサイト(<https://h-takarajima.com/detail/index/5588>)から申し込みが可能です。大人一名での利用は6,000円、2名以上の利用で4,000円、中学生以下は2,000円となり、道内在住の方にはどうみん割も適用できます。1年後にこのツアーがあるかまだわかりませんが、この機会にぜひご体験いただければいかがでしょうか？



ツアーの詳細はこちらから



ツアーのホームページ

北大所蔵の「書」紹介

書家 岡田 犬岬(たいこう)

正門から農学部に向かう道路縁にある、風化した石碑。目立つ場所に立っていて何となく目には入っているけれど、もはや風景の一部と化し、これが何の石碑なのか知っている人は多くはないのではないのでしょうか。

札幌市在住の書家で、北大法学部卒・元総合博物館資料部研究院の岡田犬岬氏に、この石碑とその他北大に収蔵されているいくつかの書作品について紹介していただきます。



聖蹟碑 北大農学部前

上の文にある聖蹟碑(=聖蹟記念碑)は、昭和十一年十月の陸軍特別大演習が行われた際に、北大に大本営が設けられ天覧を賜りましたが、その記念碑です。新築直後の農学部本館が昭和天皇の仮御所である「行在所」(あんざいしょ)並びに大本営となったのです。当時、農学部本館が北海道で最も近代的な建物でした。この年の演習が帝国陸軍の最後の大演習となり、支那事変そして太平洋戦争へ突入していきました(注1)。

聖蹟碑は、昭和十二年三月の建立。碑文(下の細かい字)は、「現代書道の父」と教科書にも掲載されている比田井天来(ひだい てんらい)という書の大家によるもので、平明な楷書とカタカナで書かれています。比田井天来の名前はありますが、大学にその資料が残されています。



聖蹟碑の碑文

石碑上部の「聖蹟」という篆書体の二字は、「陸軍参謀総長・大演習幕僚長で、ヒゲの宮様として国民に人気のあった閑院宮載仁親王の揮毫」によるものです(注2)。「大本営」の大門標は今でも総合博物館に収蔵されており、先頃わたしも目にすることが出来ました。



聖蹟碑の上部文字

比田井天来の勇壮な筆致の六曲屏風《勤学文》が、北大総長室に展示されているのも特筆すべきことでしょう。中国・宗の第三代皇帝であった真宗の「勤学文」十行を書いたものです。この屏風は2019年1月～2月、大原昌宏教授等の尽力により総合博物館で公開され大きな話題になりました。



比田井天来六曲屏風《勤学文》

他に、医学部二階ロビーに国際的書家、小川東洲先生揮毫の《医の心》が掲出されています。この作品は、平成五年に、北大名誉教授の田邊達三先生が贈られたものです。

歯学部横には札幌の書家、山田太虚先生揮毫の石碑《歯学部》があります。昭和六十三年に、歯学部創立二十周年を記念して、歯学部同窓会が贈りました。

私事で恐縮ですが最後に、北大に展示されているわたしの作品にふれさせていただきます。北大病院一番奥の通路に、北大医学部第三十九期生一同によって贈られた《清健》(90×180cm)、また総合博物館に三点《楡》《遠友》《恵迪吉》、また旧・北大医療技術短大会議室(現大学院保健科学研究院)に《簾清》が収蔵されています。

注1・2 岩沢健蔵著 北大図書刊行会1986年『北大歴史散歩』より



小川東洲《医の心》



山田太虚《歯学部》



岡田犬岬《清健》

おうち時間の読書のお供に 「ほんでないかい2020」発行しました!

北大生協院生組織委員会委員長 稲垣征哉

○『ほんでないかい』とは

専門分野にかかわる本や文献を読むことの多い北大の大学生・大学院生に、「自分の専門以外の分野を知ることの大切さ」「本を読むことそのものの面白さ」を感じてほしいという想いのもと、院生組織委員会が毎年発行している書評誌です。

○『ほんでないかい2020』発行までの道のり

『ほんでないかい』は例年秋に書評を集めて1月末に発行しています。しかし、今年度はコロナ禍で金銭事情が厳しい学生にも本を読むきっかけを作ってもらうために、北大生協書籍部の年末謝恩セールにあわせて発行することを目標にして作成しました。

書評募集ではTwitterやホームページなど大学に来ることができない学生・院生のみなさんにも伝わるように宣伝を行った結果、35件の応募をいただきました。

書評を応募してくださった組合員のみなさま、編集に携わったみなさまのおかげで、無事多くの書評を掲載した『ほんでないかい2020』を年末謝恩セールにあわせて発行できました。『ほんでないかい2020』の中で気になる一冊を書籍部年末謝恩セールで購入して、おうち時間に読書を取り入れてみてください。

○特別インタビュー企画 裏話

『ほんでないかい』では毎年その年に北大で注目をされた方にインタビューを行う特別インタビュー企画を掲載しています。新型コロナウイルスが世の中を一変させた今年度は、北大生への新型コロナウイルスに関する情報発信に取り組まれたNo More Coronaプロジェクトのみなさんにインタビューさせていただきました。初めてのオンラインツールを用いたインタビューとなりましたが、感染症予防について考えさせられる貴重なお話を聞かせていただきました。インタビューの様子は生協店舗などで配架している『ほんでないかい2020』を手にとってご覧ください。

委員長からひとこと

コロナ禍で厳しい状況ではありますが、苦しい生活の中でも前向きに勉学・研究に取り組む大学院生が少しでも有意義な院生生活を送ることができるよう、引き続き活動していきたいと思っております。『ほんでないかい2020』の感想や院生委員会へのご要望など下記よりお知らせください。

北大生協院生組織委員会

Mail: hokudai_insei@coop.hokudai.ac.jp

Twitter: @Hokudainsei_coo (大学院生・大学院進学予定学部生向けの情報発信中!!)



10月の売上げベスト5

	書名	著者名	出版社	税抜価格
1	現代思想 2020年10月号 特集: コロナ時代の大学		青土社	1,500円
2	北海道大学ピースガイド			819円
3	人新世の「資本論」	斎藤幸平	集英社	1,020円
4	ベスト	アルバール・カミュ	新潮社	750円
5	白い病	カレル・チャペック	岩波書店	580円

今号よりクラーク書籍の売行良好書を紹介させていただきます。初回は10月の売上げベスト5です。

期せずしてコロナ禍関連書籍が4冊並びました。『現代思想2020年10月号 コロナ時代の大学』、『ベスト』(新潮文庫)、『白い病』(岩波文庫)は、まさにそれがテーマの本です。『人新世の「資本論」』(集英社新書)も気候変動やコロナ禍など、人類の経済活動が地球を破壊する環境危機の時代をいかに打開するか…、若き俊英の処方箋として、全国的にベストセラーになっています。また、学会会議会員任命拒否問題を受けてか、『北海道大学ピースガイド』もここにきてまた動きができました。

これらランキングの本本だけではなく、生協書籍部では学術専門書や資格書、一般書店と同じように文芸書、文庫・新書、雑誌など幅広い品揃えで皆様のご来店をお待ちしております。

これから本格的な冬の到来を迎えますので、冬籠りに備えて是非お立ち寄りください。



心とからだ健康を考える

大学院教育学研究院 准教授

渡邊 誠



アルコール依存症が、精神科で治療される疾患だということを知ったのは、いつの頃だったか、多分学生の頃だったと思います。何か意外な感じがしたことを憶えています。その後、心理学的支援の実習をさせてもらえることになった精神科病院が、たまたま依存症治療を行うところであったため、依存症の問題に苦しむ人たちに実際に触れる機会を得ました。アルコール、シンナー(有機溶剤)、覚醒剤といった化学物質に対する依存症を患う人たちがいました。そういった人々を対象とするグループ・カウンセリングの場面に、最初は実習生として、後には非常勤心理士として参加させてもらいました。年配の方からして、若い身にはなかなか難しいものでした。アルコール依存症の年配者も、シンナー依存の少年も、覚醒剤依存でアウトロローな人生を歩む人たちも、グループ・カウンセリングの場面で一緒に口にしたのは、「意志を強くして止めます」という言葉でした。アルコールを、シンナーを、覚醒剤を、意思の力で止める、ということです。しかし、様々な依存症に至るには、それ相応の理由や思いがあり、そこに向かい合わない、なかなか依存から抜けていくのは難しいのでした。依存症に限りませんが、元氣になつて退院していったように見えた人が、再発して入院し、ある日病棟で再会するという経験は、駆け出しの身にはこたえるものでした。以前より具合悪そうに見えたのは、今から思えば、こちらの気持ちのせいもあつたのかも知れません。

こころの健康を考える ⑥7

依存症と孤立のはなし

「意志を強くして止めます」の先に行くにはどうしたらいいかと、先輩スタッフと知恵を絞りました。そんな中での経験です。ある時、グループ・カウンセリングの中で、参加する少年たちが、意志を強くしてシンナーを止めるといふ話をしていた時、一人のやや年上の参加者が言いました。シンナーやる人は友達がいらないじゃないか、意志を強くするよりも友達をつくった方がいいよ…。他の参加者からの返答は、ほとんどなかったように思います。もう何十年も前のできごとですが、このことはずっと記憶に残っています。

現在、精神医学や臨床心理学の領域では、依存症は嗜癖(アディクション addiction)と呼ばれることが多くなりました。アルコール等の化学物質の摂取や、ギャンブル等の行為を、自分自身ではコントロールできない状態ですね。では、アディクションの反対の状態は何か。以前は「しらふ」や「クリーン(薬物を使っていない状態)」と言われていたのが、現在では、「つながり connection」であるとの認識が、世界的に広まっていると言います(マクミラン、松本他『本場の依存症の話』)。依存症の問題は、実は孤立の問題である、ということですね。意志を強くするより友達だということ認識は、実に鋭いものだったのだと思います。

新型コロナウイルス大流行の中、人と人とのつながりをどう保つたかということが問題になっている現在、依存症の問題は以前とは異なる形で忍び寄っているのかもしれない。そもそも災害時には、アルコール依存症が増える傾向があるのです。

それにしても、依存症からの回復には孤立からの脱出が大切だということを教えてくれたその人は、その後の人生を、どう過ごしたのだろうか、と考えます。たまたま出会った一支援者の感傷かとも思いつつ、願わくは平和な老年を迎えてほしいと思いますように、祈らずにはいられない思いです。

ほけんのお話

今回は、賃貸物件に入居のとき、大家さんに必ず契約することを求められる火災保険のお話です。

賃貸の火災保険は、①『家財にかかる火災保険(入居者の家財一式の補償)』、②『借家人賠償責任保険(大家さんに対する補償)』、③『個人賠償責任保険(日常生活のトラブルの補償)』が基本的な構成になっています。

・『借家人賠償責任保険』と『個人賠償責任保険』は特約なので、主契約である『家財にかかる火災保険』に付帯しないと契約できません。この2つの特約は大家さんにとって必須の補償であり、この2つの特約があれば、どの火災保険でも大家さんは安心します。

・保険料を決定する主な要素は、物件の構造(鉄筋コンクリート、木造等)、家財の保険金額と補償内容、2つの賠償保険のそれぞれの支払限度額です。保険会社それぞれが販売している火災保険で、補償や保険料に違いがあります。

・転居するたびに火災保険を契約しなおすことが多いと思いますが、道内から道内の転居は、住所変更の手続きをするだけでそのまま火災保険を継続することができます。ただ、道内から他都府県への転居は、保険料の追加や返還が生じる場合があります。

自分で複数の火災保険を検討していくと適正な補償と保険料が見つかるとは限りません。また、自分や家族を守ることと損害保険の関係を深める機会にもなります。家賃も安くはないので、できるだけ出費は少なくしたいものです。損害保険代理店に問い合わせるという方法もあります。もちろん、北海道協同保険サービスでもお問い合わせお待ちしております。



大学文書館へ 行こう

第2回 「資料の受け入れ窓口」

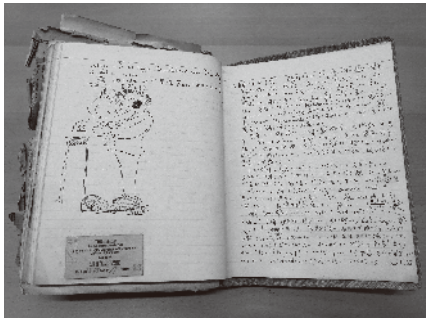
北海道大学大学文書館 井上 高聡



【物品資料】 クラーク博士胸像ミニチュア

「じゃない方」の資料

前回は、公文書（大学運営のために作成・取得する事務文書）資料について、大学の歴史の骨格部分を記録していることと紹介しました。今回は、皮膚や筋肉に当たる「別の資料」です。大学文書館では「沿革資料」と呼びますが、端的に言うところ「公文書以外の資料」のことです。



【教員の個人資料】 堀健夫理理学部教授のヨーロッパ留学時代の日記（1926年）

例えば、大学の重要な役割である研究の内容は、公文書資料にはほとんど記録されません。しかし、研究をした教員個人所有の資料に、研究に関する実験・調査・思考の経過の記録、文章化した草稿、仕上げに至る原稿、発表した

論文・著作があれば、研究の成り立ちから成果までを追うことができず。教育面でも、時間割やシラバスといった大学の公的な資料から講義名や講義概要は分かりますが、実際の講義内容を知るには教員の講義準備ノートや学生の受講ノートなどの個人所有の資料が不可欠です。学生の課外活動や寮での生活などの学生生活については言わずもがなです。公的「じゃない方」だからこそ重要なのです。

「窓口」という役割

けれども、これら沿革資料の収集は簡単ではありません。公文書資料の場合は、国の法律「公文書管理法」や、大学の「法人文書管理規程」がその扱い方、管理・保存方法などを定めています。北海道大学では、歴史的に重要な公文書は、大学文書館に移管するルールとなっており、ルール通りに運用すれば基本的に自然と集まって来ると言えます。

ところが、沿革資料には定まったルールがありません。資料の所有者頼りといった面があります。例えば、家を片付けているとき、祖父母や両親、自身の古い持ち物が出てきたらどうするでしょう。「思

い切って捨てようか」、「捨てるには忍びないな」、「このまま持っていて」、「どこか引き取ってくれないかなあ」などいろいろの思いが去来します。もし、そのときに誰かが大学文書館のことを知っていたら、資料の相談、受け入れ「窓口」になることができます。そこで捨てられるはずであった歴史的資料が残り、後世に大学の歴史の一面を伝えることになるかも知れません。「窓口」の役割は重大です。

大学文書館は、「窓口」となるべく、広報活動や情報の発信・収集に努めています。このコラムもその一環です。けれどもやはり、基本的には資料の周りにいる人々が頼りなのです。

歴史を大事にする雰囲気

大学アーカイヴズの仕事をしたいと感じるのは、この大学の教職員・学生・卒業生・OB・OGなど関係者が大学の歴史に対して関心が高いこと、歴史を大事にする雰囲気大学全体に浸透していることです。大学の歴史が長いこと、しかも独自の歴史であること、地方色が強いことなどが要因として考えられます。大学文書館にとっては非常に仕事のしやすい環境です。大学アーカイヴズの活動を絶やさないように受け継ぐことも、大学文書館の役割と考えます。まずは、大学関係の歴史的資料やその所在情報にお心当たりのある方は、大学文書館にご一報を。



【学生の個人資料】 単位取得の難易を一覧にした「大鬼伝表」（1986年） 大黒真苗氏寄贈

中央食堂 耐震改修 工事に伴う 休業のお知らせ

北海道大学では、2020年12月中旬から21年3月中旬まで中央食堂の耐震改修工事を行ないます。

このため店舗の営業は、

**2020年12月5日から
2021年3月末まで**

工事準備や開店準備の期間も含めて**全館休業**します。

組合員の皆様には大変ご不便をおかけしますが、利用者の安全確保へのご理解のほどお願いいたします。

北海道大学生協同組合

北大生協には「学生・院生・留学生・教職員」の4つの組織委員会があります。

北大生協組織委員会報告

学生委員会

「Letter」ト音記号、わかば号の2種類を配架しました。

一般の組合員向けの機関紙「Letterト音記号」と、1年生向けに食堂など生協の使い方をもとめた冊子「Letterわかば号」を配架しました。



■オープンキャンパス活動を行いました。

高校生と北大生が話せる「北大生と話そう」のZoomでの実施、受験生応援冊子「NITOVE」の郵送など、毎年行っているもののほかに、北大生を体験できるゲームの制作、受験体験談の掲載などを北大生協のホームページ上で行いました。

■学生委員会公式HP、Twitter



HP



Twitter

■学生委員会連絡先

gakusei@coop.hokudai.ac.jp

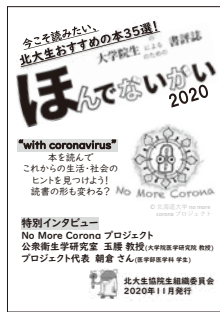
学生委員会に意見・質問のある方は、こちらのメールアドレスにご連絡ください。

これからも学生委員会をよろしく願います!!

院生委員会

■書評誌「ほんでないかい2020」完成しました!

毎年院生委員会が発行している書評誌「ほんでないかい」が完成しました。今年も多く書評をいただきました。今年も多くの書評をみなさまから応募いただき、35件の書評を掲載しています。特別インタビュー企画ではNo More Coronaプロジェクトのみならず、まにまにインタビューを行いました。生協店舗などで配架しておりますので、ぜひ手にとってください。このきぼうの虹5ページには「ほんでないかい2020」の特集ページを掲載しています。そちらもあわせてご覧ください。



■新入院生応援冊子

「いんでないかい」作成開始!

来年度北大の大学院に進学する学部生のみなさんに送る応援冊子「いんでないかい」の作成を開始しました。発行時期や資料請求に関するお知らせは今後院生委員会「Twitter(左記)」で行いますので、お待ちください。

■院生委員会公式Twitter

@Hokudainsei_coo

■院生委員会連絡先

hokudai_insei@coop.hokudai.ac.jp

教職員委員会

■教職員総代会議…通常時学内7ヶ所で開催する総代会議を、10月13日、15日、11月17日、19日のお昼休みを利用して、2、3カ所合同でWEB会議により開催しました。

生協加入のメリット、増資、来訪者価格の導入、食堂におけるコロナ対策の方法、生協の営業報告などに対してご意見やご質問をいただきました。

■教職員委員会…毎月1回、総代会議であがった組合員の声や、企画物の立案、「きぼうの虹」に掲載する記事内容について討議しています。総代会議終了後の10月15日・11月19日に開催しました。

■「きぼうの虹」…この冊子です。教職員委員会が編集し偶数月に発行しています。

【編集後記】

連日2000人前後の新規感染者が続く北海道。11月17日からは札幌市で「外出自粛」の要請あり。Stay homeの再来だ。生協経営はもろろんのこと、学生・教職員など組合員、道民の生活への影響が心配。だが、命を支える医療は守らねばならない。

いつかは来るポストコロナの学生・教職員のために、生協事業の継承が必要な時。生協は私たち組合員が利用して成り立つ。日々の買い物・食事の時、コンビニ・スーパーを控えて、1日1回だけでも生協利用を増やしてみよう。Stay homeの時でもShop coopはできる。